

活動報告

団体名	多摩川災害支援チーム
活動名	台風19号による多摩川流域での被害の支援活動
活動期間	2019/11/03～2021/1/31
活動の成果	被災地域には、目に見える床上の泥は自力で取り除くことが出来ましたが、その後の適切な対処方法が判らずに困っていた人、壁の内部から浮き出てきたカビへの対処方法が判らずに困っていた人、また、そうした困りごとの相談先がわからず、何処の誰に助けを求めたら良いのか判らずに困っていた人が多く居られる状態でした。そのため当団体では地域の自治会と連携してそうした人々に寄り添い、活動の終了後も気軽に相談をしてもらえる関係作りにも力を入れてきました。また、台風19号の被害は広範囲に渡っていたため十分なボランティアを集めることが困難でした。そこで被災エリアの立地を生かし、「活動場所は駅から徒歩圏内」という手ぶらで来られる民間ボランティアセンターを謳い文句とすることでSNSを通じてボランティア参加を呼びかけ、参加者を確保することができました。しかし、それでも技術ニーズに対応可能なボランティアを十分に確保することが難しかったことから、床剥ぎや壁剥しや、エアコン室外機の分解洗浄などの技術講習会を企画し、人材の拡大を図りました。未だに支援の手から取り残されている人たちを、どのように見つけ出し寄り添っていくかが今後の課題となっています。この課題に 대응するために、ボランティアだけでなく社会福祉協議会や地域の既存組織(自治会や自主防災組織、商工会青年部など)にも参加してもらえる仕組み作りが必要になりますが、今般の当団体の活動により、そのための下地作りが出来たものと考えます。
寄付者へのメッセージ	ご寄付をいただいたことで実のある支援を行うことができました。今後も地域の団体として地域に密接に寄り添い、いつでも気軽に相談できる存在でありたいと思っています。ご寄付いただいた皆様に心から感謝いたします。

(活動のようす)

